



【先週 3月31日～4月6日の外食の出来事】

■あみやき亭、19%減益 前期最終 人件費・仕入れ値上昇で

あみやき亭の2019年3月期の決算は、純利益が前の期比19%減の16億円。減益は3年連続。人手不足で人件費が膨らみ、牛肉の仕入れ価格の上昇も響く。新規出店で増収は確保したが、コスト増を吸収できなかった。

■吉野家、海外展開ラーメンチェーンを完全子会社化。牛丼、うどんに次ぐ柱に。

吉野家が、ラーメンチェーンを展開する株式会社ウィズリンクホールディングスを5月1日付けで完全子会社化する。ウィズリンクは、「ばり嗎」「とりの助」ブランドを中心に国内58店舗、海外28店舗、計86店舗を展開。

■ハイデイ日高の19年2月期、税引き利益2%増30億円

ハイデイ日高の2019年2月期の決算は、税引き利益が前期比2%増の30億円となった。売上高は前期比3%増の418億円、経常利益は前期比2.1%増の46億円、営業利益は前期比1.1%増の47億円だった。

■木曽路、新業態の新型大衆酒場「大穴(ダイアナ)」をオープン

木曽路は、「活力源」と人々の「サードプレイス」となるテーマの新業態の“大衆酒場”「酒場 大穴」を東京・人形町にて4月4日にオープン。コンセプトは、“寿司、串焼、つまんで大衆価格、ちよい呑みから宴会まで、街の活力源に”。

■銚子丸、第3四半期(H30年5月～H31年2月)の業績 増収増益

銚子丸の平成31年5月期 第3四半期の業績は売上高141億7900万円(対前年同期比1.7%増)、経常利益4億8400万円(同73.9%増)、四半期純利益2億5300万円(同53.6%増)と増収増益を確保した。

■幸楽苑、既存店売上6ヶ月連続プラス。3代目が流れを変えた。

株式会社幸楽苑ホールディングスが、2019年3月の実績を発表した。直営既存店で客数10.8%、客単価0.6%減となり、売上高10.1%増となった。2018年10月から6ヶ月連続でプラス。

■ヴィアHD 初の大衆酒場業態「神田酒店」を荻窪にオープン

「酒場」が外食で空前のブームになっているなか、備長扇屋、紅とん、魚や一丁などを展開する株式会社ヴィア・ホールディングスが、初の大衆酒場業態「神田酒店」を4月3日(水)、東京・荻窪にグランドオープンさせた。

■出前館デリバリー、オーダー数25%増。そろそろ加盟店間での競合激化

「出前館」の2018年9月～19年2月の合計オーダー数が、1,376万件、24.9%増となった。加盟店数は、18,572店舗、15.5%増。ウーバー・イーツの実績は非公開だが、デリバリー需要は急激に高まっていることは間違いない。

■モスバーガー、タイの若手実業家と組み、タイ事業を建て直し。

モスフードサービスが、バンコク証券取引所上場の電子部品メーカーであるKCEエレクトロニクスの社長兼CEOピターン・オンコーシット氏をパートナーとし、現在の8店舗から今後5年で45店舗まで拡大する計画を発表した。